

令和6年度第1回茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会会議録

議題	(1) 進捗管理表（令和5年度～令和7年度）による令和5年度の事業結果及び評価について (2) 進捗管理表（令和5年度～令和7年度）による令和6年度の指標及び目標値について
日時	令和6年7月31日（水） 13：30～15：30
場所	茅ヶ崎市保健所 第1会議室
出席者氏名	山岡奈々、小林啓子、前園トシ子、飯島直子、佐野初美、佐藤次男、佐藤真矢、柴田佳世子、高橋基、関義弘、北村充史、宮川茂夫、秋吉美穂子、北岡英子 （欠席委員） 村越さゆり、松井新吾 （事務局） 保健所副所長 前田、健康増進課長 寺島、課長補佐 林、課長補佐 門田、副主査 茂木、主任 青木
会議資料	【事前送付資料】 ・ 次第 ・ 資料1 進捗管理表（令和5年度～令和7年度） ・ 資料2 意見シート ・ 資料3 令和6年度茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会スケジュール表 【当日資料】 ・ 次第 ・ 座席表 ・ 事前意見シートまとめ ・ 茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会規則 ・ 茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会委員名簿
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0人

○事務局（課長）

ただいまより、令和6年度第1回茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会を開会いたします。

本日は、村越委員、松井委員より、ご欠席のご連絡をいただいておりますが、委員16名中、過半数を超える14名の委員に出席いただいておりますので、茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会規則第5条第2項の規定による会議の開催要件を満たしていることをご報告いたします。

続きまして、会議の傍聴についてご説明いたします。本市では、行政運営に係るおける公平を確保し、効率化を図るとともに、市民参加を推進するため、本委員会の会議は原則公開で傍聴ができることとなっております。本日の傍聴について確認いたします。本日は傍聴希望者がいらっしゃいません。

続きまして、本日の資料と議事録について、事務局より説明させていただきます。

○事務局（門田）

本日の資料について確認させていただきます。

【机上配付資料、事前送付資料の確認】

続きまして、議事録について説明させていただきます。本委員会は、会議録を作成いたします。会議録には、各委員のお名前を掲載させていただきます。会議にご出席の全員の方に確認していただき、会議から45日以内にホームページで公開となります。

【AI 議事録の使い方を説明】

○事務局（課長）

続きまして、令和6年度に新たに委員になられた3名の方をご紹介します。

茅ヶ崎市スポーツ推進委員協議会より前園委員です。茅ヶ崎市保育園園長連絡協議会より、佐藤委員です。本日ご欠席ですが、茅ヶ崎市小学校長会より、村越委員の3名の方が今年度より新たに委員になりました。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議題に先立ちまして、保健所副所長、前田より、北岡委員長に市長からの諮問書をお渡しいたします。

【諮問書を委員長へ】

それではここからは議事の進行を委員長にお願いいたします。

○北岡委員長

皆様こんにちは。お暑い中、お久しぶりの委員の皆さんと、初めての委員の皆さん、よろしくお願いいたします。

ただいま代表として、諮問書を受け取ることができました。茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画の進捗管理表（令和5年から令和7年度）による、令和5年度の事業結果及び評価と令和6年度の指標及び目標値についての審議につきまして、協議をしていきたいと思いますので、活発なご意見いただければと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

それでは次第に従って、進めていきたいと思います。議題1の進捗管理表、令和5年度から令和7年度による令和5年度の事業結果及び評価について、事務局からご説明お願いいたします。

○事務局（門田）

事務局より説明いたします。お手元に資料1進捗管理表（令和5年度から令和7年度）及び事前意見シートのまとめをご用意ください。

資料1進捗管理表では5年度から令和7年度に記載の各事業の評価、課題及び翌年度へ向けた改善点は、事業担当課が記載したものとなります。評価につきましては、主観的な評価にならないよう、各担当課において複数人で評価を実施することを依頼しております。資料1令和5年度事業評価結果一覧につきましては各事業の評価を踏まえ、事務局でまとめたものとなっております。

簡単に令和5年度の事業の評価について説明させていただきます。資料1評価結果一覧をご覧ください。

まず、第3次茅ヶ崎市食育推進計画につきましては施策1から3までございます。どの施策につきましても概ね高い評価点となっております。施策1、食の生産、流通、安全への理解では、天候の影響を受けた事業もありますが他の事業内容に変更するなど、工夫して実施しております。施策2、食文化の体験と継承、共食の推進については、周知が課題となる事業、継続実施が必要な事業がございました。施策3、生きる力としての食生活の基礎づくりでは、知識の定着のためにも継続実施が必要である事業が多くありました。

第2次茅ヶ崎市健康増進計画につきましては施策1から2までございます。施策1一次予防、生活習慣の改善、心身機能の維持向上については、周知方法が課題となる事業もありましたが、開催手法や事業内容の見直しを行うなど、工夫して実施しております。施策2二次予防、生活習慣病の早期発見早期治療と重症化予防対策の推進については、健診等が主な事業となり、実績値が低い事業もあり、周知が課題となっております。

第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画につきましては施策1から2までございます。施策1一次予防、生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進については評価が高く、様々な媒体を使った普及啓発、講演会、教室、相談体制の充実を図った事業がございました。施策2二次予防、歯科口腔保健対策の推進については、こちらも健診等が主な事業となりまして、実績値が低い事業もあり、周知が課題となっています。

本日机上に配布いたしました事前意見シートまとめにつきましては、皆様からご提出いただきました意見シートに基づいて、各取り組み別に記載したものととなります。こちらをもとに、委員の皆様からご意見をいただけたらと思います。

また、事務局からの審議議題といたしまして、事業参加者や検診等の受診者を増やすための周知啓発の方法、具体的には、周知啓発の手段、開催時期、場所等につきましてもご協議いただけたらと思います。以上でございます。

○北岡委員長

ご説明ありがとうございました。食育の計画、健康増進計画、歯の計画と順番に、進めていきたいと思います。

委員の皆様からの意見シートをご覧になっていただきながら、この場で、また新たにご意見があれば出していただければと思います。

まず、第3次茅ヶ崎市食育推進計画のことについて、いかがでしょうか。事務局から報告がありました。委員の皆様方から、こういう動向で取り組んでいただきたいなどのご意見ございますか。

柴田委員、意見シートの記載事項に、プラスしてご意見等ありましたらお願いいたします。

○柴田委員

こども食堂のお話でよろしいですか。食育の視点だけではなく、こどもたちの居場所づくりの視点から考えても大変有効な取り組みと考えております。今後もさらなる充実が必要と、社会情勢から考えても思いましたので、意見を述べさせていただきました。

○北岡委員長

ありがとうございます。こども食堂のことについてなど、他にご意見はありますか。

実際には、こども食堂を増やす計画はありますか。

○事務局（門田）

事務局からお答えいたします。担当課であるこども政策課に確認したところ、7月12日時点でのこども食堂は、補助金を出し、市が把握している分として15ヶ所ございます。

令和6年度に関しても、新規申し込み等もあり、拡大している状況を伺っております。

○北岡委員長

ありがとうございます。ますます取り組んでいただくところで、例えば、夏休みの期間だけでも開けるとか、いつも同じじゃなくてもいいと勝手に思っています。このようなご意見は出たりされますか。

○事務局（課長）

こども食堂ではありませんが、昨年度、茅ヶ崎公園体験学習センターうみかぜテラスなどを使い、地元の福祉団体を中心に、夏休み期間だけお子さんをお預かりした地区があると聞いたことがございます。

○北岡委員長

ありがとうございます。ぜひ、意見の一つとして検討していただければと思います。
ほかに食育のことについて、山岡委員からご意見をいくつかいただいておりますがいかがですか。

○山岡委員

私は、感想的なことが多かったので、あまり強い意見というほどではないですが、公民館によって講座が様々にあることが分かりました。いいなと思う講座や人気があるとの記載があったため、人気がある講座は、他のところでもやったらいいと思いました。

公民館は、独立して、計画を立てて実施しているため、難しいのかなと思いました。皆さん、どうしても地域で近いところへ行くとします。遠くだとちょっと…ということもあるので、そのようなところは、どうなっていますでしょうか。

○北岡委員長

ありがとうございます。この件についてお願いします。

○事務局（門田）

事務局からお答えいたします。公民館に確認をさせていただきまして、社会教育施設としての役割がある中で、7つの区分（①こども事業、②家庭教育支援事業、③シニア事業、④博物館連携事業、⑤地域課題解決等事業、⑥学習成果活用・学習情報提供事業、⑦次世代ネットワーク事業）があり、区分に沿って、各公民館の公民館運営審議会や利用者の意見を聞きながら計画を作成しています。公民館は5ヶ所ありますが、その中で調整ということではなく、各公民館の運営審議会の方と、利用者の意見を聞きながら計画を作成しているということでした。

山岡委員がおっしゃったように人気のある講座や継続についても、利用者の意見を聞きながらということではあるので、どのように反映していくかだと思います。

○北岡委員長

ありがとうございます。

先ほど事務局からも全体的な課題として、情報発信の方法などについて、委員の皆さんにお伺いしたいとのことで、のちほど、ご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

○小林委員

先程の事務局の説明を聞いて、疑問に思いましたが、公民館の横の連携をとるような、取りまと

める課はないのでしょうか。

○事務局（門田）

事務局からお答えいたします。公民館は、社会教育課に属しています。事務局の確認不足ではありますが、5 公民館で事業の実施数などを調整することは、現時点で行っていないということです。

○事務局（課長）

公民館は、社会教育課に属しておりますが、それぞれ独立した公民館になります。

進捗管理表を見ていただくと、5 館連携などが入っていますが、コロナ禍で活動ができず、各施設で WiFi の整備が進みました。それに伴い、5 館連携という形でいろいろ取り組むことができました。今年も 5 公民館と青少年会館で連携し、Zoom を活用した、他県の工場見学の取り組みがあります。

公民館で毎月、館長会議が開催されていますので、出たご意見等もお伝えすることができればと思っております。

○北岡委員長

ありがとうございました。よろしいですか。

○小林委員

人気の講座は、公民館により企画力の差がどうしても出ると思います。人気の講座を共有したり、連携すると、日程や場所が合わないから参加できない方も参加でき、広くいろいろな人にチャンスがあると思います。連携をもっと密にできるようになればいいと思いました。

○北岡委員長

ご意見ありがとうございます。

貴重なご意見で、食育だけでなく、全部に関わってくることだと思います。どの自治体でも言っていますが、行政は、どちらかというと縦割りになり、同じような事業を違う課で実施していることがあります。理想論になりますが、茅ヶ崎市も共有ができて、役割分担ができるといいと思います。食育に限らず、健康増進や歯のこともあわせて、横に繋がりながら共有して、事業を実施いただけたらいいと思います。

食育のことで、佐藤真矢委員から、ご意見いただいていますがいかがでしょう。

○佐藤(真)委員

この委員会に初めて参加させていただいて、資料を読ませていただきました。さまざまな取り組みがあり、凄いという感想を受けました。保育園でも、年間の食育計画を立てて、取り組んでいることが多くあります。園によっては地域の農家さんと連携し、米づくりを実施しているところもあり、ちょっと羨ましいなと思うこともあります。今おっしゃったように、連携を取りながら進められたらいいと思いました。

○北岡委員長

ありがとうございました。

○佐藤(次)委員

資料いただいて、全体的に感じたのは、市の行事だからということで市の施設に限って、お願い

してやってるのかなと思いましたが、先ほど話題に挙がっていた、公民館は5つしかありません。

地域のコミュニティセンターは11ぐらいあると思いますが、働きかけて、いろんなことを一緒に進めてもらえたらいいと感じました。

○北岡委員長

貴重なご意見ありがとうございます。事務局としては、コミュニティセンターを活用してる事業とかありますか。

○事務局（課長）

本日の計画にはありませんが、社会教育関係の方で、コミュニティセンターと連携して行ってる事業もあると聞いております。

○北岡委員長

わかりました。先ほどのご意見も合わせて、地域の資源の活用方法についても、課を超えて話し合っていただければと思います。

秋吉先生、食育では、まとめとして何かありますか。

○秋吉副委員長

お話を伺い、私もメモしてきたことが、お話していただけたと思ってます。

食育なので、食を通して、人が繋がります。市民が繋がるだけでなく、私たちも繋がることで、各事業が進んでいることを年々強く感じます。そして、上位の目的に向かって、いろいろなことが進められている気がしております。

保育園、幼稚園、小学校、中学校等は、PDCAがよく回り、計画も立てられていて、システムも確立しています。年間を通して決まった件数や、定期的に継続されている事業も多いので充実感があります。

ライフステージ別にみると、シニア世代向けのものが多くなっております。こどもや家族で参加できる事業もありますが、今後、更に増えていくとよいと感じます。どうしても思春期や若い世代、それから高齢者の一歩手前の更年期向けの取り組みが抜け落ちる部分と感じております。

補足的な内容になりますが、皆様のご意見をまとめたような形になります。

○北岡委員長

ありがとうございました。食育に関しましては、評価として出していただいたものをお認めいただくということ、今後の課題としてあがったことを踏まえながら実施していくということで、まとめさせていただいてよろしいでしょうか。

それでは、第2次健康増進計画について、ご意見ございましたらお願いします。山岡委員、いかがですか。

○山岡委員

意見シートは、個人的な内容になりますが、副委員長の先生もおっしゃったように、ライフステージ的に、高齢の前の段階でフォローがあるとよいと思いました。しかし、健康診断のこともあり、中年世帯は忙しく、市の事業に目を通したり、参加の機会も少ないと思います。募集しても、来ないといった、難しいところだと思います。

事務局さんもおっしゃっていたように、働き世代の方は、健康診断を会社で受けている方が多いと思います。そのような中で、会社でやっている方の数字を把握するのは、難しいことと思います。数字でみたら難しいところも実は、というところを、教えてもらえたらと思います。

○北岡委員長

お答えが難しいかもしれませんが、事務局お願いします。

○事務局（林）

健康診査につきましては、健康増進課からは75歳以上の方を中心に、個別に受診勧奨しております。

特定健康診査については、保険年金課が担当で、国民健康保険加入者を対象に実施している健診になります。なかなか社会保険の方がどのぐらい受診されてるや、社会保険の方に向けての個別の受診勧奨は難しい状況にあります。受診状況も、把握することができず、健康増進課としても課題であることを認識しております。

○事務局（課長）

がん検診については、国民健康保険、社会保険関係なく個別通知を出して、受けてくださいという周知をさせていただいております。受診率は、市の検診を受けた方のみの人数と対象者の人数で算出しています。

国も受診率については問題意識を持っており、会社の方の人間ドックや職場の検診は、統計が取りづらいことなどが挙げられています。受診率は、一般的に全体を合わせると、50%に近い数字になるような話は聞いております。

おそらく会社で受診している方が多いと思います。統計等については、今後検討していきたいと思っております。

○高橋委員

私は医師ですが、要するに縦割りの問題になります。仕事をしている人たちは、労働基準法に準じる健診を受けているはずで、その中でも生活習慣病のことが今一番、問題になっています。

国民健康保険の人たちの健診は、茅ヶ崎市で取りまとめて実施してくれています。茅ヶ崎市は、社会保険の健診は、なかなか把握できていない状態と考えます。これらの点は、国の問題だと思います。国も今後、国民の健康データのやり取りを行いたいと考えていると思います。なぜならば、マイナンバーカードで国民健康保険の健診データは、許可をもらった人については、医師が検診の結果が見られるように、来年ぐらいからなると思います。

社会保険の健診については、本人の同意があれば人間ドックを受けた機関が国のデータベースに上げてくれれば医師が把握できる可能性が考えられます。ただ、企業健診は、普通の企業が行っているため、把握できないと思います。ただ、会社側も一生懸命「検査数値が高いから、二次検査に必ず行ってください」とプッシュするようにはなっていますが、二次検査の受診は、曖昧なところもあると思います。そのあたりは、縦割りをどうするかが問題だと思います。

○北岡委員長

ありがとうございます。受診勧奨といいますか、先生方のお立場から働きかけをされていることはありますか。

○高橋委員

病院に来てもらわないと、やりようがありません。受診していただければ、なるべく働きかけをと思っています。サラリーマンの方は忙しく、なかなか受診しづらいと思います。企業の健診を受けていただき、二次検査受診の結果をもらっても、60%くらいしか行かない現状があったりもします。90%以上目指し、総務の方が個別に「二次検査を受けてください」といって、やっと来てくれる状況にあります。血圧やコレステロールなど、食事や運動の問題等を改善するだけでも、薬を服

用しなくても良くなる方もいると思います。しかしながらその土台にまで乗ってこないのが一番の問題だと思います。

○北岡委員長

ありがとうございます。働く方という、商工会議所の飯島委員、何かありましたらお願いします。

○飯島委員

高橋先生がおっしゃっていた通りで、こちらとしては「行ってください」と言う立場なんですよ。皆さん、行ってくださいとひたすら産業医の先生とあわせてお伝えしていますが、なかなか足が重い方が多く、今悩んでいることです。

企業が健康経営にシフトしてきておりますので、少しずつ変わってくるというのを期待したいところです。足が遠のく方は、やはり数名いらっしゃいます。これからのまだまだの課題だと思います。

○北岡委員長

ありがとうございます。茅ヶ崎市は、受けるとインセンティブを付けてるとかありますか。

○事務局（課長）

国民健康保険の特定健康診査ではつけていると聞いています。後期高齢者対象の健康診査は、特にありません。

○北岡委員長

他の自治体でインセンティブをつけても、行かない方もいらっしゃいます。

同じ人が何回も行ってる状況では、受診率が高い、低いなど言えないと思います。やはり普段、受けていない方に受けていただくことが、どの自治体も悩みだと思います。解決法が見いだせない状況かと思います。

他に健康増進計画で何かご意見等がありますか。

○関委員

1点質問です。進捗管理表の64番（高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施・ハイリスクアプローチ）の糖尿病が疑われ、治療中断してる方へ対する電話かけの支援ですが、委託契約の仕様上で2回にとどまったということで、目標に届かなかったことを感じました。改善点のところで、電話回数が増えるようなことの記載がありませんが、この方々が透析などに移行したり、重い病気にかかる可能性が結構高いのかなと思いました。こちらは、契約が今後、変わるなどのお考えはないか、確認させてください。

○事務局（門田）

事務局からお答えいたします。前年度の反省を踏まえ、令和6年度委託契約の仕様を変更しまして、電話の受診勧奨の回数を5回に増やしました。

○関委員

ありがとうございます。やはり受診していただかないとっていうような方々なので、これからもよろしくお願いします。

○北岡委員長

貴重なご質問ありがとうございました。他には何かございますでしょうか。
それでは歯及び口腔の計画についてはいかがでしょうか。

○山岡委員

歯っぴいデーのイベントがよいという記載をしました。村越委員より、生活圏で地域とつながれる場所、活動をお願いしたいとの記載がありますが、歯っぴいデーで適用できると思いました。

歯科の健診についても何かあると思いますが、かかりつけ医が割と定着している分野なのかなと思っています。恐らく、受診券も使わず、定期健診してるのかなと思いました。

○北岡委員長

佐藤真矢委員はいかがですか。

○佐藤(真)委員

保育園で、コロナ前は歯磨きをしていました。コロナにより、衛生管理の面でなくなり、再開時に、改めて歯磨きについて、園で考えました。口の中に棒状のものを入れることは、割とリスクが高いという話になりました。歯磨きの仕方がありますし、衛生的に歯磨きをする、例えばご飯を食べている人の前で磨くのは変だったりしますね。その磨く場所の確保などについて話をしました。保健師さんや歯科衛生士さんに聞くと、やはり習慣をつけるために、やった方がいいですねと言われます。

ただ、うがいでもというところで、嘱託医の歯医者さんに聞くと、むし歯が凄く増えている傾向ではないとお伺いしています。割と、自宅ですっかり見ている、食べるものなどに気をつけているのではないかと伺っております。

保育園で、感染症のリスクを抱えながら実施するというより、保護者の方に歯の磨き方や歯磨きの大切さをいろんな方法で伝える手段があるのかなと話をしています。歯磨きを安全に実施するには人手も必要です。園長たちの間で、このような話をしているというところが、今の流れになります。

○北岡委員長

ありがとうございました。ほかにはいかがでしょうか。

○高橋委員

親子ともに気にしているご家庭は、まず歯医者さんに行き、予防歯科でブラッシングも指導をしてもらっていると思います。

しかし、こどもたちの歯にまで注意が回らない人を、救い上げていくことが必要と思います。

チラシを配布したとしても、捨てられてしまっただけではどうしようもありません。そのあたりで、皆さんからいい知恵があれば、市で実践してもらえるとよいと思います。歯医者さんに行っていない人を、引っ張り上げるには、保育園はすごくいい場所だと思います。

○佐藤(真)委員

やはりその話も出ます。ちゃんと見てあげられないところを見てあげられる場が保育園であったりします。保育園は、歯科健診が年2回あります。そこで、ほとんどの子たちがきれいだけど、必ず虫歯だらけのお子さんがあることもあります。そこをどのように、歯医者さんにつなげるかというところだと思います。食べ物や飲み物についても、ご飯は食べないけど、甘いものを食べる生活をされていて、その影響で体も大きいし、歯の影響もというようなこともあるので、そのあたりも

相談しながら、いろいろな方向で働きかけをしています。

忙しいとおっしゃるお母さんに対して、歯医者への受診につなげるところが、やはり課題と思っています。

○北岡委員長

他にご意見やアイデアはありますか。なかなか難しいですし、受診をするとお金もかかるという思いを持っていらっしゃる方もいます。経済的な問題など、いろいろなことが含まれてくると思います。

○小林委員

こどもは医療証があるため、お金はかからないとは思いますが。連れて行く時間がないのが大きいと思います。歯医者さんも18時や19時までとか、働いてるお母さんが連れて行くとなると、土日やっていない歯医者さん、土曜日も午前中だけとかっていう歯医者さんもあったりします。時間の融通が難しいと思います。

○北岡委員長

そう思いますね。医療証は自治体により、何歳まで無料というのが異なります。やはり、親御さんの考え方になってしまうというところはあると思います。

柴田委員、学校でも健診がありますよね。そこからの受診勧奨はいかがでしょうか。

○柴田委員

医師会の方からいただいた通知を保護者の方にお渡ししたあと、保護者の方がどう判断されているかは、各ご家庭にゆだねてる部分が大きいと思います。

○北岡委員長

ありがとうございます。この課題は、すぐに解決が難しく、いろんな方向から働きかけをすることになると思います。意識を持っていただくことを可能な限り広げていく話になるかと思います。

残りの時間で、事務局の方からご提案がありました、情報などの周知や啓発について伺います。なかなか情報が行き渡らず、知らない状況をできるだけ解決していくのに、何かいい方法がありませんか。

皆様方からこのようなものがあると、キャッチできるんじゃないかとか、広報紙やタウンニュース、ホームページなどは、多分やってらっしゃると思いますが、それ以外のところでっていうのはどうでしょう。何かいいアイディアはありますか。或いは、ご自分の関係するところでは、このような形で発信していますみたいなことはおありでしょうか。

○秋吉副委員長

事務局の方に質問です。Facebookはされてるってことでしたけれども、LINEもされていますか。その手のものは、X(旧Twitter)とかされてるってことですね。

○事務局(課長)

いろいろ活用しております。LINEセグメント配信が昨年ぐらいからできるようになりまして、比較的LINEの登録者が多いので、活用しております。そのほか、メール配信やホームページを活用しておりますが、皆さん何を一番見られますか。市からの連絡、それこそホームページや広報紙は昔からありますが、回覧なども活用しています。実際に情報を、何でご覧になることが多いのかなと。本日出席の委員の方々は、働き世代の方も多いため、是非伺いたいです。

○北岡委員長

挙手をさせていただきますか。

○前園委員

回覧でみます。回覧板が一番スムーズに回ってきますので、いろんな情報をみています。

○北岡委員長

では皆さんに挙手をしていただきましょう。

○事務局（門田）

広報紙【10名】、市のホームページ【3名】、回覧板【4名】、各地域の広報掲示板【1名】、LINE【4名】、X（旧 Twitter）【1名】、メール配信【1名】、Facebook【0名】、Instagram【0名】、タウンニュース【7】

ありがとうございます。

○北岡委員長

今後、何かの参考になるでしょうか。何か目的があるときは、いろんな方法でアクセスしてみようと試みると思います。タウンニュースがたまたま目に入ったとか、そのようなこともあるかと思っています。

家族構成も関係しますし、見ないということもあるため、難しいですね。ここの部署だけではなく、市全体としての課題としますので、参考にしていただければと思います。

予定の時間になりましたので、次の議題2に入っていきたいと思います。議題2は、進捗管理表（令和5年度から令和7年度）による令和6年度の指標及び目標値についてです。事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局（門田）

事務局より説明いたします。議題2について、資料1事前意見シートまとめの裏面をご覧ください。

進捗管理表について、令和6年度における各事業の指標及び目標値に関しましては、事業の担当課が記載したものととなります。6年度、実施予定なしとなる事業もございますが、今後、事業内容が施策に該当するような新規の事業については、追加していくことを考えています。令和6年度の実績調査の際には、事業実施課への聞き取りをしっかりと参ります。

事前意見シートまとめにつきましては、皆様からご提出いただきました意見に基づいて、各取り組み別に記載したものとなっております。

こちらをもとに委員の皆様からご意見をいただけたらと思います。また、事務局からの審議議題といたしまして、各取り組み分野で関心がある事柄、日頃感じている課題等についても、ご協議いただけたらと思います。説明は以上でございます。

○北岡委員長

ありがとうございます。いただいたご意見などをもとに伺っていききたいと思います。飯島委員、いかがでしょうか。

○飯島委員

親子の教室で何かと思ったときに、室礼教室を開催し、日本の文化と食育も含めて、料理教室み

たいなものを開かれてもよいのではと個人的に思いました。

○北岡委員長

ありがとうございます。事務局からは、室礼教室の関係で何かありますでしょうか。

○事務局（門田）

現時点で、室礼教室というところでは、当課でやっているものではありません。

令和6年度は、歯っぴいデーと一緒に食育フェスタを開催し、その際には親子で食育フェスタに参加いただきました。調理実習の際も旬の食材を取り入れるなどは、やっていますが、日本文化と融合させるところまでは、現時点で実施できていません。

○北岡委員長

ありがとうございました。意見シートを提出いただいている委員の方で、追加でご意見等ありますか。

○柴田委員

中学校は、10月から給食が始まるため、本校も1期の学校ですので今工事を実施しています。2期の学校が来年度からの開始ですが、市内半分の学校が10月から行われる状況です。

こどもたちが一緒に食事をとることに対しての、楽しみや思い出があると思います。小学校で食べたものやあったことなど、単純に栄養を摂ることや食事をするだけではなく、一緒に食事をしたときの思い出や先生が話していたことなどを含め、食は一人の人生に大きく影響を及ぼしていることを感じます。給食が始まるにあたり、いろいろなインタビューやこどもたちの感想などを聞く場面で、食の果たす役割は本当に大きいことを感じているところです。

自分たちの生活や思い出、人との繋がりを含め、こども、そしてこどもたちが成長して社会に出た時、今度は自分や社会のこどもたちに、食を通じて何かを伝えていったり、一緒に喜びを感じたりしていくと思います。

ここで給食が始まり、一緒に食事を食べながら、学校生活を送る意味合いや大切さをひしひしと感じているところです。

○北岡委員長

ありがとうございます。佐藤真矢委員のご意見についてはいかがですか。

○佐藤(真)委員

保幼小の集まりで、小学校の取り組み紹介がありました。今年は大豆を育てて、お醤油にすることを全部こどもたちがやるという取り組みを聞いて、素晴らしいと思いました。それに関して、地域の詳しい人に聞き、地域を巻き込みながら、いろんなことをやっていこうという話が保育園でも出ています。このような素晴らしい取り組みがいろんなところで紹介されるといいなと思います、意見シートに記載させていただきました。

今、中学校給食の話が出て、そのとおりでと思いました。私は、中学校の息子を持っている母親で、お弁当がなくなって嬉しいと思っていましたが、寂しい気持ちもあります。しかし、こうやってこどもたちが同じ食事を食べること、小学校の時、今保育園の給食を食べてる時もそうだったと感じたので、給食はいいのかなと思っていたところでしたが、柴田委員のお話がありがたかったです。

○北岡委員長

ありがとうございます。中学校給食の開始に伴い、方向性が変化しているのが実態だと思います。ありがとうございます。食育で宮川委員は何かありますか。

○宮川委員

食品衛生協会に属していますが、今年、食中毒がかなり増えています。それに対する取り組みが結構大変です。今回も焼き鳥からのカンピロバクター、昨日もニュースでウナギのお弁当からも出ています。このような状況で、手洗いなどの徹底、衛生手袋の着用などをし、調理食品を扱うことが大切だと思います。

【別会議により退席】

○北岡委員長

中学校給食は、衛生的にいかがでしょうか。配膳したりなど何かあるのでしょうか。

○柴田委員

中学給食は配膳方式ではなく、セットになっているものを予定されています。

○北岡委員

食事前の手洗いなど、今までもやっていたかもしれませんがいかがでしょうか。

○柴田委員

今までも手洗いをしてから、席についています。特にコロナのことがあって以来、手洗いは念入りに行っておりますので、継続になります。

今回、選択制のデリバリー方式の中学校給食になりますが、ケースの中に何セットか入ってきて、それを配膳台の上に置く形になります。配膳台を1回きちんと拭くことや、配膳台のカバーも作った方がいいという話もしています。

中学生なので、部活動で配膳台カバーを作る話にもなっています。教員の発想のもと、こどもたちの発想も生かしながら、衛生管理をしなくてはいけないと思っており、ちょうど考えている最中です。今、7月の段階のところで、例として申し上げました。今後、より具体的になるかなというところはあります。

○北岡委員長

ありがとうございました。給食が開始することだけでなく、そこにまつわる教育的な配慮や生徒さんたちの学びもあるかと思います。

関連したところで、いろんな意味での食育や、献立などはいかがでしょうか。

○柴田委員

給食が始まることと、紐づくと思いますが、この前は、給食が開始する契機に、市の教育委員会の方にこどもたちの食育講座を開いてもらいました。カルシウムをしっかり摂ることなど、今一度栄養について考えてみようとのことで話をいただきました。

衛生管理でいうと、中学校は調理実習等もあります。コロナ禍では、調理実習を実施していなかった時期もあります。コロナ禍前に、近づきつつある状況で、調理実習も大分再開されてきたところです。ここ数年、こどもたちに、自分で食をコントロールしていく場面がなかったので、久しぶりに調理実習をしてみると、こどもたちができなかったことや、こんなにいろんなことが分かっているけど、分からなかったかということがあります。

保護者の方が、準備したものを食べるが多く、自分で食事を作る機会が欠けていたと、この

1 年は特に多く思うところです。

社会に出た後など、自分の生活をどう作り上げていくかを考えると、できるだけこの時期に、衛生管理を含め、栄養のバランスや何を選ぶか、どんなものが作れるか、体験だったりそのような視点を育てていく必要性は感じています。

○北岡委員長

ありがとうございました。漁業の方で食育や食事のことに関連して何かありますか。体験は、何かやっているのでしょうか。

○北村委員

農業関連では、進捗管理表の 1 番のタケノコ掘り体験とかありましたね。漁業では、小学校では遠足でバスが来て、中学校では、学校ごとに異なりますが、職業体験で地引網みを体験していたと思います。

○北岡委員長

今もイベントをやっているのでしょうか。

○北村委員

いえ、実施がないです。

○北岡委員長

企画としてあるといいというご提案ですかね。ありがとうございます。

今、こどもはお魚を敬遠するのでしょうか。

○高橋委員

「うちの子は魚を食べません」という人が多いです。魚を食べない状況が継続すると、それだけが影響しているとは限りませんが、30 代、40 代ぐらいで LDL コレステロールが高くなると思います。

昨年度の委員会の意見シートにも記載しましたが、茅ヶ崎なのに魚に対するイベントが、全然入っていません。イベントだけでなく、食育の観点からお魚をどうやって食べたら美味しく食べることができるか、魚の食べ方っていっぱいあるはずですよ。鮭を焼いてあげるとか、洋風にしてソテーにしてもいいと思いますが「うちの子、肉しか食べないんです」とおっしゃいます。給食で、お魚を上手に出してもらい、抵抗がなくなることは凄くいいと思います。

また、小さい頃は地引網みを体験するのもいいと思います。先日、こども会で地引き網をやり、カマスが取れて、こどもとお父さんで捌いて食べた話を聞きました。このような取り組みや捌き方を見せて、家に帰って調理してもらいイベントでもいいと思います。お魚をどう調理して、食べればいいのかなどの勉強会やイベントも、もっと入れてもらえた方が、成人期になってからの病気の発症予防にも、個人的にはつながっていくと思います。

EPA のサプリなどもありますが、今問題の紅麹サプリのように、サプリは時々副作用を引き起こすことがあります。生命にかかわるような副作用の経験はありませんでしたが、肝障害とかはあります。今まで平気だった人が急に肝臓機能が悪くなり、サプリをやめて 1 ヶ月経過すると、正常になっていることもあります。サプリは高価なものでもあるため、私は良質な食べ物でしっかり栄養をとることがよいと思います。健康に気をつかう人だからこそ、サプリをとってるとは思いますが。魚の方が美味しい、楽しい、健康にもよいと思っています。

せっかく茅ヶ崎っていうのがあります。今のこどもたちは、シラスを取るために網を引いていることなどを知らないと思います。

昔の茅ヶ崎市は、海側は漁業、山側は農業が盛んであった歴史があるので、タケノコ採りや稲かり等もいいですね。海側については、お魚のアピール、魚について学んでもらえたらいいと思います。

○北岡委員長

ありがとうございました。貴重なご意見です。地産地消で目の前で取れたものを調理する流れの中で、お子さんたちも一緒に学べるといいですね。

特に夏休みに親子で参加なども企画をしていただければいいのかなと思います。

○秋吉副委員長

さまざまな情報ありがとうございます。今のこどもたちは、本当に魚と果物をあまり食べないですね。進捗管理表の6番（チリメンモンスターを探せ）などを海側でも多く、もう少し取り入れられてくるとよいと思います。

経験は、記憶に強く擦り付けられると思います。講演会や教室のような話をするだけのものと違い、大変にはなりますが、その見返りのようなこどもたちへのプレゼントは大きいものになると思います。ワークショップ型といいますか、体験を通しての知識の普及が、たくさん盛り込まれています。そこに魚を絡めたものがもう少し増えてくるといいと思います。漁業組合さんのご協力が必要になってくるとは思いますが、事務局とも、相談されて、将来に向けてそういったものが増えると、非常にいいと思います。私も魚の取り組みに賛成の考えです。

○北岡委員長

ありがとうございました。私たちに身近な食は、さまざまな話題が出ますが、健康増進や歯も身近なところですね。今後に向けて、ご意見がありましたらお願いします。実現するか分かりませんが、アイデアや課題を出していただければと思います。佐野委員、何かありますか。

○佐野委員

NP0で茅ヶ崎の市民活動サポートセンターの管理運営をしています。今、食のお話いろいろ伺い、地域で農業されてるところなどがあります。いろいろなお野菜作っておられますので、そういうものが地産地消という、給食などにうまく結びついていくといいと思います。情報を求めている方と、こんなのがありますよというような方の両方の情報をいただければ、ここでコーディネートマッチングできていくのかなって思っています。

お魚については、茅ヶ崎はアジなど、いいものが多く取れますね。思い出したのが、息子が中学校の調理実習で、アジを捌いたそうです。もう40代になる息子なので、大分昔の話ですが、こどもの幼稚園の遠足が地引き網だったりもしましたので、昔はそういうことが普通にできました。反対に、今のお父さんお母さんがそういう経験がないのかなと思います。やはり、親子でお魚を捌いてみるとかの体験が今一番キーワードになってますので、いい事業になると思いました。

○北岡委員長

親子で何かやろうという、別の部署になりますか。

○事務局（門田）

魚について少し調べておまして、保育園の給食では大体週1回ぐらいメニューで出ていることを保育課の管理栄養士に確認させていただきました。小学校給食では週1〜2回は魚が提供されていることを献立表上で確認させていただいております。

実際の事業になります、魚を取ってきてから捌いて食べる一連の流れではやっていません。健

康増進課の事業でも、昨年度、大人向けになりますが、料理人から学ぶいきいき魚料理ということで、魚の捌き方と、栄養について学ぶ講座を開催いたしました。また、魚を使った献立で栄養教室の調理実習も実施しました。

今年度になりますが、茅ヶ崎公園体験学習センターのうみかぜテラスでは、親子向けの教室として、「茅ヶ崎にはどんな魚がいるのかな」、「体験としてアジを捌いてみよう」という教室を開催しております。

親子となると、いろんな部署が実施できます。どこか一つの部署に偏ってしまうことなく、親子向けか、大人向けか、各課の事業の判断もあるところです。

○北岡委員長

ありがとうございました。いろいろと企画はされていると思います。情報が行き渡っているのか、実際に開催しての皆さんの反応、どのぐらいの方が参加されたかなど、課題があればまたクリアしていくような、企画にしていだけると思います。

高齢者に関しては、ここの範疇ではありませんか。高橋委員、何か感じることはありませんか。

○高橋委員

お年寄りに血液検査をすると、アルブミン値が低い結果になり、私は、低値な人に対して「栄養失調です」といいます。アルブミン値の結果が、100%低栄養を反映しているかは定かではありませんがわかりやすいと考えてそのように話しております。

お年寄りには魚でもいいのですが「肉を食べましょう」とお願いすることが多いのが現状です。でも、お肉は硬いことが難関になるみたいです。タンパク質の吸収が年をとると悪くなり、同じだけ食べてもアルブミン値が上がらないことがあります。食べやすいタンパク質を上手に摂っていくことも重要なことだと思います。

低タンパク状態が続くと、どうしても筋力が落ちてきてしまいます。

くらくらする→足がおぼつかずに転ぶ→骨折するとなると悪い方向にいつてしまいます。タンパク質を取っても、もちろん、運動状況も影響しますね。

「1日に肉を200グラム食べて」と東大の先生が言いますが、一度に200グラムの肉は僕でも食べることができませんが、しかし1日かけてのグラムです。瀬戸内寂聴さんが長生きしたのも、年を重ねてからお肉を食べていたからという理由もあると思います。半分の100グラムでもいいから、何とか食べてほしいと伝えることはできても、私ではお年寄りに優しい調理法まではプレゼンテーションできないので、行政がしてあげることが必要です。少しずつ実施しているとは思いますが、そのような取り組みも重要であると思います。

○北岡委員長

ありがとうございました。関委員、何かありますか。

○関委員

確かにフレイルの問題は非常に大きくて、独居の方などは、菓子パンでお腹を膨らませ「しっかり食べてるから大丈夫」といいます。糖質しか取ってないことに気づいていない方が非常に多いです。食べているものを振り返るような機会があるといいと思います。

フレイル予防は、運動をしても、タンパク質を摂っていなければ、筋力はどんどん落ちていきます。そのような教育をする教室があるといいと私も思いました。

○北岡委員長

いろんな病気で薬をたくさん飲んでらっしゃる方もいます。今、できるだけ、マイナンバーやお薬手帳で、管理するといいいながらも、なかなか統一できてなかったりとか、そのあたりの問題は

かがでしょうか。

○関委員

問題は、薬が増えるポリファーマシーに対してですかね。かかりつけ薬局の啓発をしております。我々薬局も医療機関の横にあることが多く、患者さんのすべての薬を把握するのが、お薬手帳などでしか把握できない状況でした。今、マイナンバーカードを普及していて、さまざまな医療機関で出ている情報なども取れるようになってきました。そのあたりは変わりつつあると思っております。

○北岡委員長

ありがとうございます。12月から保険証がマイナンバーに統一されますね。大分そこでデータが繋がっていきますか。

○関委員

そうですね。実状、利用率は上がっていないことになっておりまして、厚労省からも、普及するよう言われている最中です。

○佐藤(次)委員

今、高齢になると食事が偏るとおっしゃっておりました。私は77歳ですが、同級生なども男性の一人暮らしが多くなりました。みんなに話を聞くと「食事は偏っている」といっています。

なので、コミュニティセンター等で、お年寄りの食事習慣講座みたいな形で、バランスのとれた食卓モデルがあるといいと思いました。私も10日前に、湘南東部に入院しまして、食事をおかゆから普通食の1600キロカロリーまで、体験しました。コミュニティセンターは、人が集まる場所ですから、いいんじゃないかなと思っております。

○北岡委員長

ありがとうございました。高齢者の食事に関する取り組みはありますか。

○事務局（門田）

健康増進課では、高齢者の一体的事業というところで75歳以上の方を主にターゲットにして、高齢者のいきいき健康教室を、公民館やコミュニティセンターで開催しています。

内容は、保健師から健康のお話と管理栄養士から栄養のお話をさせていただいております。歯科衛生士から口腔のお話、健康運動指導士から運動の紹介をしています。実際に、フレイル予防に役立てて欲しいという教室を開催しており、これも皆さんに周知が行き届いていないことを、お話伺い、思いました。

管理栄養士が健康増進課に在籍しております。何か不安なことがあれば、お電話でも、栄養のご相談などを受け付けております。管理栄養士が開催している栄養教室もご活用いただきたい思いが募りました。

○北岡委員長

ありがとうございます。活動の宣伝はされていますか。

○事務局（門田）

はい。広報紙やタウンニュース、LINE配信、メール配信を実施しているのと、サポートセンターの方にもご協力いただいて、チラシを置かせていただいたりしています。医師会さん、歯科医師会

さん、薬剤師会にもご説明にあがりまして、ご協力をということでチラシを置かせていただいている薬局もあります。

○北岡委員長

開催の周知だけでなく、やっててこんなに楽しいとか、そういう内容みたいなことって、お知らせをされていますか。

○事務局（門田）

実際の声は載せきれていない部分がございます。実はサポートセンターの方にご相談に行った際、体験者の声を掲載するとよいのではとご提案をいただきました。今、実際に検討してホームページに載せられないかというところを進めています。

○北岡委員長

タイトルや内容だけではピンとこず、参加した方のよかったや楽しかったなどの声があるといいですね。もちろん許可をいただいての掲載になると思いますが、そのような内容をどんどん発信していくと、参加してみようと思う方も増えてくると思います。周知の内容も、工夫されるといいかなと思います。

○小林委員

今のお話聞いて思いましたが、栄養などを勉強する意思のある人は、講座に参加すると思いますが、そういう方ばかりじゃないのが現状だと思います。

参加されたとしても、頭でわかっていても実際にやれるかが一番難しいところで、私も食育を学んでいてもどかしさを感じます。

こども食堂の話とも関連しますが、藤沢市のタウンニュースで、普通のお店が夏休みの期間だけ、お弁当を200円とか300円とか、定額の料金で提供してくださる記事を見たような気がします。こども食堂に補助を出すっていうのもいいのかもしれませんが、こども食堂という形じゃなくても、普通の一般のお店にバランスのとれたお弁当などを安価で提供できるような助成をするのも一つの手と思いました。

こどもや高齢者関係なく、低栄養になりがちな人が、手軽にバランスのとれた食事を手に入る場所がたくさんあることがいいと思います。栄養が大事だっていうのはわかっているけど、金銭面でできない方が結構多いと思うので、そういう助成の仕方もあると思いました。

○北岡委員長

ありがとうございます。貴重なご意見で、本当にそういうところが増えると、こどもも大人も高齢者もいいと思いました。

予定の時間になりましたので議題2については、以上とさせていただきます。

次第に従って3のその他に進んでいきます。事務局の方から、その他についてご説明お願いいたします。

○事務局（門田）

事務局から説明させていただきます。その他については2点ございます。一つ目議事録と答申について、二つ目、今後の委員会の予定についてになります。

一つ目の議事録と答申についてですが、本日の審議会の会議録を事務局で作成後、会議録を、本日ご出席された委員の皆様へお送りいたします。期日までに確認いただき、訂正の必要がある場合は、事務局までご連絡ください。期日につきましては、会議録を送付させていただく際にお知らせ

せさせていただきます。皆様にご確認いただいた後に市ホームページ等にて公開となります。

議事録を作成後、皆様からいただきましたご意見から、答申を作成し、皆様にご確認いただいた後、市長へ報告することとなります。会議録同様、市ホームページ等にて公開となります。

二つ目の今後の委員会の予定についてです。資料3 令和6年度茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会スケジュール表をご確認ください。今年度につきましては、本日が最後の開催となります。委員の皆様の任期は令和6年10月31日までとなりまして、今後、任期満了に伴います委員の改選手続きを行い、1回目の委員会開催の際に改めて委嘱をさせていただく予定としております。各所属団体様には、改めて委員の選出依頼をさせていただきます。

委員の皆様におかれましては2年間様々なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

○北岡委員長

ありがとうございました。事務局からのご説明についてご質問等ございますか。

今年度が最後になります。任期も10月で終わりますが、ぜひ、続けていただきたい思いと、団体に所属の場合は、改選があると思いますが、メンバーが変わっても、考え方や思い、情報は伝えていただければありがたいなと思っております。

今まで議題の1、2などについて、委員の皆様方からご質問やご意見いただきました。言い残したことがおありでしたら、この場を出していただければと思います。いかがでしょうか。

本日、議題1に関しては、令和5年から7年の進捗管理の中で、昨年度の事業の結果と評価について、事務局でまとめていただいたことを、ご承認いただいて確認をしたということになります。それから議題2については、今年度の事業の指標や目標値についてご意見をいただきました。

新たなご意見や新しい企画のことも、ご意見いただきました。事務局の皆さんには、この先の計画に反映をしていただいたり、今のご担当だけじゃなくて、市としての課題も出ていたと思います。今後、ご検討いただければありがたいと思っております。

それではこれもちまして、本日の会議を閉会いたします。ありがとうございました。